

「ディスポーザー導入時の影響判定の考え方」の概要

目的及び位置付け

本「考え方」は、下水道管理者がディスポーザー導入の可否を検討する上での技術的資料を提供することを目的として取りまとめたものである

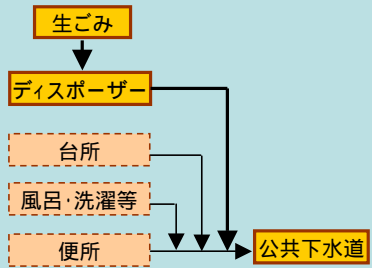
- ディスポーザー導入時の影響について、これまでの調査研究を基に、下水道管理者がディスポーザー導入の可否を検討する上での技術的資料
- ディスポーザーの導入による下水道施設等への影響を判定する手法を示すとともに、下水道管理者がディスポーザー導入時の総合的な影響、効果を判定する考え方を提示
- 各下水道管理者は、本「考え方」や独自の調査データ及び判断材料を基に、それぞれの下水道事業、ごみ処理事業及び地域の特性等を充分勘案した上で、ディスポーザーの導入の可否を判断

適用範囲

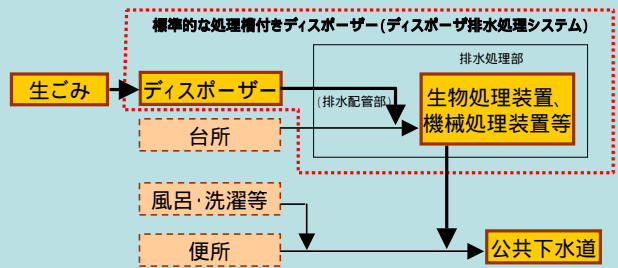
本「考え方」が検討対象とするディスポーザーとは、ディスポーザー排水が直接公共下水道に排出される「直接投入型(単体)ディスポーザー」である

- 「直接投入型(単体)ディスポーザー」とは、ディスポーザー排水が直接公共下水道に排出されるもの
- 直接投入型(単体)ディスポーザーに生物処理槽または固液分離装置を付加した「処理槽付きディスポーザー(ディスポーザー排水処理システム)」は、下水道へ流入する汚濁負荷が増大しないことを基本的な考え方としており、本「考え方」の適用範囲に含めない

< 直接投入型(単体)ディスポーザー >



< 処理槽付きディスポーザー(ディスポーザー排水処理システム) >



影響判定

ディスポーザー導入時の影響については、対象地域の現状及び将来計画を踏まえ、下水道システムへの影響、ごみ処理システムへの影響、市民生活への影響、環境への影響、経済性等について、客観的に判定する